

作品 No.183



生きものの“つぶやき”:

「ここまで登ってきなよ。」

エッセイ:

良く晴れた日に大学キャンパス内を歩いていたら、ひっそりとした日陰で一本のヒノキの木を見つけた。木の肌にはツタが這っていて、それが特別珍しい景色という訳ではないが、なんとなく引き寄せられるように草むらをかき分けて木の根元まで近づく。下から見上げると一枚一枚上向きになった葉が、階段の段のように見えた。枝の隙間から陽の暖かな光が漏れて、まるで階段が天まで続いているかのようなようだった。「ここまで登ってきなよ。」そんなことを言われているような気がして、挑発に乗ろうとするが、私が踏むにはあまりに儂い階段なのであった。(253字)

生きものの紹介:

オカメツタ

ウコギ科キヅタ属。枝から気根を伸ばして木や岩に這い上がり成長する。枝先に黄緑色の花を咲かせる。果実は褐色～黒紫に熟す。冬季には葉が紅葉する。

撮影場所・日時:

お茶の水女子大学・2019年10月30日

応募者の自己紹介:

1. 河西 花 (かわにし はな) /お茶の水女子大学附属高等学校2年
2. ダンス部所属
3. 将来の夢: 国際機関で働くこと。

審査員よりひとこと

登りたくなるような元気を与えてくれる作品です。カメラアングルと逆光の活かし方が素晴らしい。